

東日本大震災、原発事故から5年を迎えて

平成28年3月11日

自由民主党

東北地方を中心に未曾有の被害と深い悲しみをもたらした東日本大震災の発生から5年を迎えました。

この震災により、最愛のご家族やご親族、ご友人を亡くされた方々のお気持ちを思うと、今なお痛惜の念に堪えません。改めて、亡くなられた方々に心から哀悼の意を表しますとともに、ご遺族の方々に心からお悔やみを申し上げます。また大震災、大津波、原発事故により、未だに郷土を離れ、長く厳しい避難生活を送っておられる方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

政権復帰以来、わが党は、東日本大震災復興加速化本部を中心に、5次にわたる復興提言を取りまとめるなど、文字通り政府与党と一体となって、震災復興に取り組んでまいりました。

その結果、地震・津波被災地域では、災害公営住宅の建築や高台移転などが着実に進展し、まさに復興は新たなステージを迎えています。また、原子力災害被災地域においても、除染の進捗や、一部地域における避難指示解除など、復興に向けた動きは着実に進展してきています。

しかし、その一方で、今なお17万人もの方々が避難生活を続けておられるのをはじめ、産業・生業の再生、風評被害対策、廃炉・汚染水対策など、解決すべき課題も山積しております。

こうしたなかでスタートする「復興・創生期間」において、あらん限りの知恵と手立てを尽くし、被災地の人々に笑顔と活力、そして穏やかな暮らしを取り戻すことこそが、政治が果たすべき使命です。

自由民主党は、今後も被災地の人々に寄り添い、復興を加速させてまいります。そしてこの大震災の貴重な教訓を風化させることなく、国民の安全を守るための、災害に強い国づくりを進めていく決意です。

以上